

# CHOOTOKIIE!

ちょっと  
耳を傾けることから始まる、  
ハッピーを創るプロジェクト  
**チョットキイテ！**



医療・介護の現場。

医療・介護の現場、  
それは支え合い、尊厳を守る  
温かなケアの場所なのです。  
だからこそ、もっともっと  
医療・介護の現場をたくさんの人々  
知つてもらいたいのです。

でも、スタッフの  
ホスピタリティ精神の火は  
全く消えることなく、  
今日も利用者さんに笑顔で  
会えることを楽しみにしています。



人手不足、増え続ける需要。  
細かいところまで  
目が行き届かなくなると、  
利用者さんやご家族に  
不安が生まれ、  
信頼関係が崩れてしまう。  
そんな悪循環ばかりが  
取りざたされる

未来を支えて、心をつなぐ。  
そんな医療・介護の現場を、  
たくさんの人々に知つてもらいたい！

簡単なかもしれない。

最初の一歩は意外と  
「医療・介護」を考える時、

## ① ボランティアをしてみる？

たんぽぽ苑では  
各種ボランティアを  
募集しています！

<https://tanpopo-en.or.jp/shintoukai/volunteer/>



飛騨市介護サポーター制度

<http://www.hidasi-syakyo.net/wordpress/page-295/>



## ②

市内就職を目指して勉強してみる！

地域活性化人材育成支援事業

<https://www.city.hida.gifu.jp/soshiki/9/59853.html>



## ③

お仕事を探してみる！

医療・介護・福祉専門職業情報誌「飛騨のキュー人」

<https://www.city.hida.gifu.jp/soshiki/12/52470.html>



チョットキイテ!

## わたしたちの声

CHOTTO KIITE!

VOICE  
1 ホームヘルプサービス  
たんぽぽ苑ヘルパー



現在、介護職に就いて2年ほど。きっかけはパートで働いていた飲食店がコロナ禍で客数が減り事実上解雇となつたことでした。

同時期、母の具合が悪く、私は遠方に住んでいたので、母の世話は妹に任せっきりになつていました。その後、母は亡くなるまでに、骨折を3回、認知症も発症しました。妹から電話を貰うたびに介護って大変なんだと感じていました。しかし母が亡くなると、自分にも何かできたらじやないかという気持ちが残りました。そんな折、介護にまつわる1冊の本に出合い、資格をとつてみよう!と思いつき立ち、今に至ります。

この仕事を継続できる源は利用者さんと笑顔でコミュニケーションが取れるところ。それを毎日繰り返している感じです。多分、すぐ人が好きなんですね。

VOICE  
2



飛騨市民病院看護師

外来に糖尿病で通っている60代の方がいるのですが、なかなか血糖が下がらないことに落ち込んでいるようでした。まだお若く働いている方だったので、どのように不安を和らげができるかと考えていました。

ある時、患者さんとの関わりの中で、血糖の測定の種類や方法について話してみました。実は、患者さんが使用する機械などは実際に自分で試すようにしてます。自分がやってみないと辛いことも分かつてあげられないし、便利さも伝えられないと思ったのです。

次の診療の時に、その方が明るい表情で来られました。私が話した機械を導入して1カ月試したそうなのです。血糖が下がっており、お互いに喜びあって、「来月、私も楽しみにしています!」と声をかけると「頑張ってみる!」とおっしゃられ、嬉しそうに帰つて行かれました。とても嬉しく、よしつ!という気持ちになりました。患者さんの明るい表情は、こちらもモチベーションが上がりりますね。

VOICE  
3 特別養護老人ホーム  
たんぽぽ苑相談員



高齢者の方は「まめ」な方が多く、在宅時には畠仕事や家事を毎日こなしていた様子が感じられます。山菜採りや花好き、相撲観戦が趣味という方々の話には、生き生きとした表情が見られます。そうした姿を見て、私も好きなことを大切にしようと思ひます。

以前、石川県から入所された元漁師の方は、飛騨市では珍しい海の話をしてくれ、特にホタルイカ釣りのポイントを教えてもらったのが印象的です。他の方も、神岡まつりや昔の地域の話など、思い出を語ってくれます。そんな入居者の方の姿に教えられることが多く、笑顔でコミュニケーションがとれると私も嬉しくなります。

お問合せ

飛騨市地域包括ケア課 平日 9:00-16:30 (祝日・振替休日、12月29日~1月3日を除く)

TEL : 0577-73-7469 (介護保険係) 0577-73-6233 (高齢支援係・地域医療係・地域包括支援センター)

FAX : 0577-73-3604 〒509-4221 飛騨市古川町若宮2丁目1-60ハートピア古川



Instagram



SNSもCHECK!



Facebook